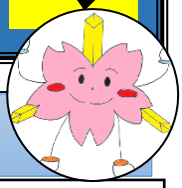
第 11 回地域伝統芸能祭で地域の方と「松山花棒踊り」を披露します

前途洋々

４年生以上が参加する「クラブ活動」では、生け花クラブと伝統芸能クラブで、地域の方々に指導をお願いしていることは以前お伝えしたとおりです。今年も本校児童が地域の方々と一緒に、１１月２２日（日）に鶴城中学校で実施される「第１１回地域伝統芸能祭」に参加させていただき、「松山花棒踊り」を披露します。１０月３１日（土）は、１９時から、上松山コミュニティセンターで練習が行われ、本校から参加する児童も一緒に練習させていただきました。お話によると、参加されている皆さんも小さい頃に上の年代の方々から教わったのだとか。近年継承していくことが、難しくなっているようですが、とても長い歴史のある芸能です。詳しい歴史については、再度お伝えします。







宇城教科等研究会：国語と生活科の授業を本校にて実施

１０月３０日（金）は、宇城管内の様々な小中学校で、第３回宇城教科等研究会が実施されました。本校では５年３組で国語の授業、２年２組で生活科の授業が行われ、他校及び本校職員合わせて、総計６０名近くの参観者がありました。さて、５年国語で学習した単元は、「大造じいさんとがん（作者：椋鳩十）」。これも、私自身大変好きな物語で、猟師である大造じいさんとがん（鳥）の群れの頭領である「残雪」との頭脳戦、緊張感あふれる交流がとても読み応えのある内容です。何とか残雪を仕留めようとしてきた大造じいさんですが、仲間を助けようとする残雪の誇り高い姿に、心情の変化が出てきます。その変化を読み取っていく授業です。子供たちは、根拠となる部分に線を引いた上で、自分の考えを堂々と述べていました。また、友だちの発表に反応していく姿も相手意識が感じられて素敵でした。





また、２年生活科で学習した単元は、「あそんで 作って くふうして」。身近にあるものを使っておもちゃを作ったり遊んだりする活動を通して、友だちとの関わりを深めたり、毎日の生活を工夫したりする意欲を高めることを目標としています。さらに、２年生は１年生のために「おもちゃまつり」を開催するので、そのゴールに向かっておもちゃを作るのはもちろんのこと、改良を重ねたり、ルールを決めたりしていくプロセスも学びの連続となります。子供たちは班でそれぞれの意見を確認したり発表したりしていました。



さらに、どちらの学年も昨年担任していただいた先生が他校から参観に来てくださり、とても張り切っていました。先生との久々の交流も楽しんでいたようです。児童の皆さん、よく頑張りました！今後も、単元のゴールに向かって、しっかり学び続けてくださいね。

